

令和5年度事業の行政評価

事業名	乳がん検診	所管	健康福祉部 保健企画課
-----	-------	----	----------------

事業概要

基本計画の位置付け	政策	15	生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる
	施策	39	健康的な生活習慣が身につく環境づくり
	区政運営	—	—
根拠法令等	健康増進法、中野区がん等健診実施要綱、中野区がん検診精度管理連絡会設置要綱		
個別計画等	中野区スポーツ・健康づくり推進計画		
予算科目	款 7 項 2 目 1 事務事業 3 事業 がん等健診		
対象者	区民	事業方式	一部委託
目的(効果)	健康診査を受診する機会のない区民に対してがん検診を実施することにより、早期発見・早期治療につなぎ、区民の健康保持と増進に資することを目的とする。		事業の 始期-終期 開始 昭和55 年度 終了予定 — 年度
実施内容(5年度)	1 乳がん検診の実施 ○ 40歳以上の女性を対象に実施しており、隔年ごとに受診するよう案内した。 ○ 区内医療機関、検診機関、検診車で視触診(省略可)や乳房X線(マンモグラフィ)で検査を行った。 2 受診勧奨の実施 新たに対象者となった40歳と、41歳から60歳の未受診者に対して9月に受診券を送付した。 3 普及啓発の実施 10月のピンクリボン月間に、街頭キャンペーンやパネル展を実施した。		

事業のコストと人員

(金額単位：千円、()内は対前年度比増減率で単位：%)

	3年度	4年度	5年度	事業のコストの説明
事業のコスト (C-D)	85,974	78,677	95,071	(20.8)
支出 (C=A+B)	86,970	78,838	96,074	(21.9)
事業費 (A)	83,767	75,691	92,994	(22.9)
人件費 (B)	3,203	3,147	3,080	(△2.1)
収入 (D)	996	161	1,003	(523.0)
従事職員数				
常勤職員	0.4人	0.4人	0.4人	
短時間勤務職員	0.0人	0.0人	0.0人	
会計年度任用職員等	0.0人	0.0人	0.0人	
計	0.4人	0.4人	0.4人	
				事業のコストの説明
				主な内訳(5年度)
				医療機関への委託 (73,127千円) 検診車・乳房X線検査等委託 (12,161千円)
				主な増減(4年度から5年度)
				医療機関への委託 (+13,899千円) 検診車・乳房X線検査等委託 (+3,094千円)

事業の実績・効果

(実績の()内は対前年度比増減率で単位：%)

指標		単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	5年度実績	
活動実績	40歳の女性区民で乳がん検診の未登録者へ受診勧奨	人	2,382	2,371	2,500	2,517	(6.2)
単位コスト	乳がん検診の医療機関での1人あたりのコスト（委託費／視触診及び乳房X線の受診者数）	円	11,570	12,126	13,479	12,075	(△0.4)
事業の効果	乳がん検診（視触診や乳房X線（マンモグラフィ））の受診者数	人	6,551	5,632	7,281	7,063	(25.4)
ユーザー視点	乳房X線（マンモグラフィ）の受診者数	人	5,584	4,962	7,281	6,314	(27.2)

有効性(活動実績分析)、効率性(コスト分析)、適正性(適切性・必要性)

乳がん検診は、早期発見・早期治療を目的に、健康増進法や中野区がん等健診実施要綱に基づき、医師や学識経験者を構成員とする中野区がん検診精度管理連絡会と協議して実施している。
国の乳がん検診受診の目標値60%は、職場検診や人間ドック等の受診者数も踏まえて算出しているため、区が実施する乳がん検診の受診率については、経年実績や東京都の検診受診率を参考に目標を定めている。東京都の令和4年度乳がん検診受診率平均は21.9%であり、中野区の令和4年度受診率は19%であった。
令和5年度は、検診車による休日検診回数の追加など、受診しやすい環境整備に努め、受診率は20.3%まで上昇した。

次年度予算編成に向けた評価

【事業の方向】	【理由】
継続	がんの早期発見につながるよう、10月のピンクリボン月間等にあわせて勧奨し、受診率の高い他自治体の情報などを収集するなど健診の受診率向上に向けた取組を行う。 受診希望者が年度末に集中することにより受診機会を逸することのないよう、早期の受診勧奨と合わせて、検診車の検診回数の追加を行い受診しやすい環境整備に努める。